



# ゆかりびびど

第 10 回

ヴェルフェ矢板 Verfe キャプテン

中村 悠真 さん（矢板小学校6年）



## 将来は、世界を魅了する プロサッカー選手に

悠真さんは、サッカーをやっていたお父さんの影響もあり、4歳でサッカーを始めました。所属チームであるヴェルフェ矢板 Verfe では、第47回全日本U-12サッカー選手権県予選決勝で、ハットトリックを決め、チームを全国大会へ導きました。「ヴェルフェでは、止める、蹴るというサッカーの基礎から、勝つための戦術までたくさんのお話を教えてもらった。また、仲間と過ごす中で、あいさつなどの礼儀はもちろん、チームの一員として勝つためにやるべきこと、みんなのためにがんばることなど、人として大切なことも教わり、かけがえない仲間と出会うことができた。」と、感謝を込めて話します。惜しくも全国大会では、予選リーグで敗退したものの、ヴェルフェ矢板で過ごした時間は、悠真さんをひとまわりもふたまわりも大きく成長させてくれたようです。

そんな悠真さんは、日本サッカー協会が運営するエリート選手育成校「JFAアカデミー福島」からスカウトされ、4月からのキャリアをスタートします。J1やJ2のチームからのスカウトもありましたが、決め手となったのは、「自分自身が一番成長できる環境だと感じた」から。4月から親元を離れ寮に入り、公立中学校に通いながら、一流施設で練習を行う生活となりますが、「全国から集まる仲間たちと競い合うのが今から楽しみ」と笑顔を見せます。

将来の夢は、プロサッカー選手になること。憧れのサッカー選手は、オランダ代表のフィルジル・ファン・ダイク。圧倒的なフィジカルと仲間と連携したプレーが持ち味の世界有数のディフェンダーです。「自分も世界で通用する選手になりたい」と話すその目は、明るい未来を見つめています。

### Editor's Note 編集後記

▷表紙の集合写真の撮影時、カメラを向ける私にケータイを向け、私を撮っていた若者がいました。みんなのエネルギーに助けられ、テンションあげあげの私に、彼にはどのように映っていたのか…。私はすっかり若返った気分でした。どこかで会ったらまたよろしくね。(DYC)

▷年が明けたと思ったら、もう節分。我が家でも節分の豆まきは恒例行事ですが、これは楽にこなせる課題。一方、歳の数だけ豆を食べるという習わし、これは近年私の胃袋にとっての難題となってきています。今年は少々サバ読もうかな…。健康に歳を重ねられることに感謝。(考え中)